

『海外ワーク・ライフ・バランス事情との比較と今後の課題』

『短時間正社員制度の可能性と導入における課題』



前半は「海外ワーク・ライフ・バランス事情との比較と今後の課題」について、厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 職業家庭両立課 課長補佐の堀 泰雄氏より解説をいただいた。

まずは諸外国におけるWLBの取り組みや実態を概観し、日本におけるWLBの取り組みと比較をした上で、わが国の少子化対策の課題として、特に保育サービスにおける質・量両面でのサービス基盤の不足、長時間労働や低賃金労働者に対する働き方の改革に向けた取り組みの弱さ、などを上げた。

WLBの実現に向けて今後は、特に男性も育児参加できる働き方を可能とする様々な取り組みが、これからの時代の企業経営に必要と述べた。



後半は「短時間正社員制度の可能性と導入における課題」について、同省 短時間・在宅労働課 課長補佐の佐々木 菜々子氏より解説をいただいた。

ライフスタイルに合わせた働き方として国が同制度を薦める点は、人材確保を容易にし企業の競争力を高められる、人事管理、労働時間管理、賃金管理、業務の進め方等の見直しにより企業運営の効率性を高められる、としている。

また来春施行予定のパートタイム労働法についても説明をいただいたが、雇用形態が複雑化且つ増加するパート労働者の雇用管理実務にどのような影響が及ぼされるのか、疑問点が多いことから同法に質問が集中した。

(文責 事務局)

パートタイム労働法に関しては、今秋以降、厚生労働省の指針が示された後に別途説明会を開催いたしますのでぜひご参加ください。